

自分らしく
たくましく

高等部通信



- ・豊かな感性をもち、心身ともに健やかな生徒
- ・自分で考え、判断し、生活することを楽しむ生徒
- ・お互いの良さを認め合い、ともに活動する生徒
- ・働くことを喜び、自ら社会に参加する生徒

貴重な体験を自然豊かな南三陸で！

7月11～12日の1泊2日で、1年生が南三陸町へ校外宿泊学習に行ってきました。体験活動を通して、自然の恵みについて考えたり、東日本大震災の被災状況や復興について考えたりすることをねらいに、志津川湾乗船体験や、化石発掘体験、震災遺構見学など、その場所でなくてはできない多くの体験をしてきました。



乗船体験



化石発掘



宿の夕食



お楽しみ花火



マイクロプラスチック探し



海のごみ拾い



楽しい、そして美味しい経験もたくさんしましたが、SDGsプログラムの体験がとても貴重な学びとなりました。砂浜から、細かいゴミ(マイクロプラスチック)を探す体験、そして、海でのゴミ拾いです。たった20分間でも、袋いっぱいのごみを見付けました。きれいな海をずっと残していくために、プラスチックを使いすぎないこと、リサイクルをすることの大切さに気付くことができました。



もっと深く知ろう、宮城県のこと！

1年生の宿泊学習実施期間中、2年生は「社会科」、3年生は「理科」の教科の視点で「宮城県」について学習することをねらいに、生活単元学習に取り組みました。

2年生

【比べてみよう、
仙台市と他の都市】

特産物や自然、公共施設など、様々な分野を取り上げ、仙台市と他の市を比較しました。積雪量、コンビニの数、ゆるキャラについてなど、自分の興味のある分野についてそれぞれが調べ、まとめました。

3年生

【火山の噴火や
地層の成り立ち】

調べ学習だけではなく、実験を通して学びました。日本には多くの活火山があり、火山の噴火によってできた「御釜」が宮城県にあることも分かりました。

(文責：及川 慧)